

※ 参考：道サービス指標の成果目標と達成度(全指標) ※

	指 標	改善方向	H17			H18
			目 標 値	実 績 値	評 価	目 標 値
ネットワーク	三次医療施設への60分アクセス人口の割合	増加	平成19年度までに平成14年圏域外人口約12万人の53% (約6万3千人) をアクセス可能にします			ネットワーク整備を推進します
	生活圏中心都市への30分アクセス人口の割合	増加	平成19年度までに平成14年圏域外人口約42万人の3% (約1万3千人) をアクセス可能にします			ネットワーク整備を推進します
	仙台空港への60分アクセス人口の割合	増加	平成19年度までに平成14年圏域外人口約54万人の1% (約3千人) をアクセス可能にします			ネットワーク整備を推進します
	仙台港への60分アクセス事業所数の割合	増加	平成19年度までに平成14年圏域外事業所約19.3千事業所の5% (約1千事業所) をアクセス可能にします			ネットワーク整備を推進します
	規格の高い道路を使う割合	増加	(H16:12.3%)	12.4%	達成	更なる増加
	高速ICへの40分アクセス人口の割合	増加	平成19年度までに平成14年圏域外人口約15万人の1% (約2万6千人) をアクセス可能にします			ネットワーク整備を推進します
	県内高速道路の供用延長	増加	234km	234km	(変化なし)	246km
	地域中心都市への30分アクセス人口の割合	増加	平成19年度までに平成14年圏域外人口約17万人の1% (約2千人) をアクセス可能にします			ネットワーク整備を推進します
	仙台都市圏の規格の高い道路を使う割合	増加	(H16:11.7%)	11.8%	達成	更なる増加
渋滞	渋滞損失時間(県民一人あたり)	減少	32時間/年	31時間/年	達成	更なる削減
	主要渋滞ポイント数	減少	47箇所	47箇所	達成	45箇所
	仙台都市圏渋滞損失時間(都市圏住民一人あたり)	減少	39時間/年	40時間/年	未達成	40時間/年
	拠点間バス旅行速度	増加	平成19年度までに拠点間バス旅行速度を向上します			
	市内拠点から市役所間旅行速度20km/h未満の道路延長の割合	減少	平成19年度までに県内拠点から市役所間旅行速度20km/h未満の道路延長の割合を16%にします			
安全・安心	事故危険箇所での死傷事故件数	減少	(H14:135件)	(H16:144件)	未達成	更なる減少
	あんしん歩行エリアでの死傷事故件数	減少	(H14:2,235件)	(H16:2,409件)	未達成	更なる減少
	仙台市内事故危険箇所の死傷事故件数	減少	(H14:76件)	(H16:91件)	未達成	更なる減少
	耐震対策が完了している橋梁数 対策優先橋梁 総対策橋梁 橋梁耐震補強3箇年プログラム	増加	68橋 89橋 —	43橋 53橋 26橋	未達成	83橋 89橋 88橋
道路・沿道環境	市街地部での広幅員(3.0m以上)歩道を整備した道路延長の割合	増加	30.6% (322,821m)	31.0% (326,706m)	達成	32.2% (339,791m)
	無電柱化延長	減少	77.1km	78.3km	達成	80.4km
	夜間騒音要請限度超過箇所数 (夜間要請限度超過延長)	減少	(H16:20箇所 32.8km)	18箇所 (30.9km)	達成	更なる減少
	水溜りの出来ない舗装を施した歩道延長の割合	増加	5.7%	6.6%	達成	8.7%
	ボランティアサポート・スマイルロード登録団体数	増加	(H16:122団体 81団体)	126団体 110団体	達成	更なる増加
指標	道路行政への重視度および満足度	増加	(H16:77.0% 60.0%)	70.0% 50.0%	未達成	更なる増加

指標の内容を詳しく知りたい方は、  
右記のホームページへアクセスしてください。

URL→<http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/hp/planreport/shiryo.html>

◎橋梁耐震補強3箇年プログラム:H17~H19は、緊急輸送道路の橋梁耐震補強を重点的に行います。

平成17年達成度報告書／平成18年業績計画書への

意見募集

アンケートハガキに  
ご回答ください

問1 「宮城の道の通信簿」をどのようにしてお知りになりましたか？

- ① 県政だより    ② ポスター    ③ タウン誌
- ④ メールマガジン    ⑤ ホームページで
- ⑥ 公共施設等でパンフレット入手
- ⑦ その他 (具体的に )

問2 平成15年度から実施しています「宮城県道路行政業績計画書・達成度報告書」の取組みについては、どのように考えられますか？

- ① 必要である
- ② どちらともいえない
- ③ 不必要である

問3 「宮城県道路行政業績計画書・達成度報告書」を実施するにあたり、「配慮したほうが良い」と思われる下記内容についてお答えください

- (1) 全体の分かり易さについて
  - ① 分かり易い
  - ② どちらともいえない
  - ③ 分かりにくい (具体的に)
- (2) 取組み事例の種類について
  - ① 十分である
  - ② どちらともいえない
  - ③ 不十分である (具体的な項目)
- (3) 広報の方法 (今年度はパンフレット・ホームページ) について
  - ① 十分である
  - ② どちらともいえない
  - ③ 不十分である (具体的な方法)

問4 取組み事例に対する評価(各ページの採点結果)をお答えください。

またそれぞれの項目について、今後どのような取組み(事業など)を必要と感じているか具体的にお答えください。

- ◎ネットワーク
  - ① 高速道路の整備
  - ② 高速道路の利用を促進する施策
- ◎渋滞
  - ③ 交差点改良の渋滞対策
  - ④ 道路拡幅やバイパス整備等の渋滞対策
- ◎安全・安心
  - ⑤ 地域の実情に即した事故抑止策
  - ⑥ 事故多発箇所の事故抑止策
- ◎沿道環境
  - ⑦ 歩行環境の改善整備
  - ⑧ ボランティア活動による道路環境の改善

問5 道サービスの向上のための取組みの中で興味のあるものについて、以下の①~⑬のうち3つまでお答えください。

- ① 高速道路の整備を進めます
- ② 既存の高速道路を使いやすくします
- ③ 安全で歩きやすい歩道の整備を進めます
- ④ 交差点改良や見通しの改善などにより、安全性を高めます
- ⑤ 耐震補強など道路の強度を高めます
- ⑥ バイパス整備や拡幅などの整備により、渋滞緩和を図ります
- ⑦ 仙台港、仙台空港へのアクセスを便利にします
- ⑧ 高速ICへのアクセスを便利にします
- ⑨ 日常的な移動に対して、利便性・安全性を向上させます
- ⑩ 道路の整備ではなく道路の使い方を工夫して、仙台市内の渋滞を緩和します
- ⑪ 低騒音舗装などにより、沿道騒音の低減を図ります
- ⑫ 水溜りの出来ない歩道を整備し、雨の日でも不快な思いをせずに歩けるようにします
- ⑬ 積極的な道路管理への参加を促し、独自性のある道路空間を形成します

